

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成28年度～平成32年度(5年間)												
事業実施地区名 (都道府県名)	(じょうえつ) 上越森林計画区 (新潟県)	事業実施主体	関東森林管理局 上越森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本事業は、新潟県南西部に位置し、糸魚川市、上越市、妙高市の3市を包括する上越森林計画区36千haの国有林野を対象としている。</p> <p>林況は、林地面積の97%がブナやカンバ類などを主とする天然林、3%がスギやカラマツを主とする人工林である。また、国有林野面積の83%が水源かん養保安林に指定されており、上越地方の生活用水や農業用水などの水がめとして重要な役割を担っているほか、森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>本計画区の森林に対する国民の要請は、木材等の林産物の供給、水源の涵養、山地災害の防止等の機能の発揮に加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供、良好な生活環境の保全等の機能の発揮や、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等への寄与等、森林の持つ多面的機能への期待が高まっており、高度化・多様化してきている。</p> <p>このような国民の期待の高まりに応え、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を確保することを目的に、次の観点から森林整備を行うとともに、併せて森林施業の効率的な実施に必要な路網について整備を行うものである。</p> <p>(森林整備実施における観点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林の重視すべき機能の区分に応じ、必要な更新を行う。 ・間伐等の森林整備事業により水源涵養機能を高める。 ・林業と野生動物の保護との両立に配慮し生物多様性の保全を図る。 ・木材資源の質的向上と水土保全機能を高め、林産物の供給や多様な森林資源の整備に資する。 ・二酸化炭素の吸収源、貯蔵庫として地球温暖化の防止等の効果を高める。 <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>4ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>356ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.0km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.2km</td> </tr> </table> <p>総事業費</p> <p>219,307千円</p>			森林整備	更新面積	4ha		保育面積	356ha	路網整備	開設延長	4.0km		改良延長	1.2km
森林整備	更新面積	4ha													
	保育面積	356ha													
路網整備	開設延長	4.0km													
	改良延長	1.2km													
費用対効果分析	総便益(B)	1,506,989千円													
	総費用(C)	229,561千円													
	分析結果(B/C)	6.56													
森林管理局事業評価技術検討会の意見															
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 本事業の実施が水源涵養機能等をはじめとする森林の多面的機能の発揮に資することから事業の必要性が認められる。 ・有効性 事業計画は、地域の特性を踏まえ、必要な更新、保育等の森林整備となっており、路網整備と連携した計画となっている。 ・効率性 伐採計画を踏まえた路網整備や更新計画となっており、費用対効果分析の結果からも事業の効率性が認められる。 <p>新規事業採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成28年～平成32年度(5年間)																
事業実施地区名 (都道府県名)	(た ま) 多摩森林計画区 (東京都)	事業実施主体	関東森林管理局 東京神奈川森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、東京都八王子市の高尾山周辺を対象としている。本計画区の森林面積は53千haであり、そのうち国有林は1千haで、森林面積の2%を占めている。</p> <p>人工林の育成状況は全般的に良好であるが、ニホンジカによる植栽苗木の食害や樹皮剥ぎの被害も見受けられる。このような林分においても、水源の涵養機能の維持・向上のため、健全な森林状態に誘導することが求められている。また、人工林の84%が利用期に達しており、森林資源の循環利用を推進し、地球温暖化防止に貢献するため将来の二酸化炭素吸収量を持続的に確保する観点から、主伐・再造林による森林資源の若返りを図る必要がある。</p> <p>本計画区では、水源の涵養、山地災害の防止、木材等の林産物の供給等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供、良好な生活環境の保全等の機能発揮、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等、森林のもつ多面的機能の発揮に対する期待が高まっている。</p> <p>このような国民の期待に応え、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を確保することを目的に、本事業においては、森林の重視すべき機能の区分に応じ、伐採跡地における植栽等の更新作業並びに下刈及び間伐等の森林整備を実施する。</p> <p>また、森林整備を効率的に実施するため、既設路線の改良を併せて実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">8ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">256ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">1.1km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">123,804千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	8ha			保育面積	256ha		路網整備	改良延長	1.1km	総事業費			123,804千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	8ha																
		保育面積	256ha																
	路網整備	改良延長	1.1km																
総事業費			123,804千円																
費用対効果分析	総便益(B)	488,923千円																	
	総費用(C)	137,801千円																	
	分析結果(B/C)	3.55																	
森林管理局事業評価技術検討会の意見	/																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 本事業の実施により健全な森林の育成・維持に資することから事業の必要性が認められる。 ・ 有効性 事業計画は、地域の特性を踏まえ、必要な更新、保育等の森林整備となっている。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から事業の効率性が認められる。 <p style="margin-top: 10px;">新規事業採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		